

兵庫県立神戸聴覚特別支援学校

〒655-0013 神戸市垂水区福田1丁目3番1号

電話 (078) 709-9301

FAX (078) 709-0371

ホームページ <https://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/kobe-shn/NC3/>

1. 教 育 目 標

- (1) 幼児・児童・生徒一人ひとりの障害や発達段階、特性に応じた教育を推進する。
- (2) 調和のとれた心身の発達を図り、自立と社会参加の実現に向けて、主体的に行動し、未来を切り拓く力を育成する。

2. 設置学部と各部の目標

(1) 保育相談部（1、2歳児）

- ① 安定した親子関係を築き、心身の調和のとれた発達のための素地を養う。
- ② 補聴器や人工内耳の活用をすすめ、発達に即したことばの習得をめざす。
- ③ 確かな愛着を育み、親子の豊かなコミュニケーションの基礎を養う。

(2) 幼稚部（3、4、5歳児）

- ① 保有する聴力を最大限に活用できるよう、個に応じた聴力活用を促す。
- ② 手話も含めた様々な方法を用いて、コミュニケーションの意欲と能力を育て、ことばの習得につなげる。

(3) 小学部（6ヵ年）

- ① 健全な生活態度を養い、体験的な学習や交流を通して豊かな人間関係を育む。
- ② 個に応じたコミュニケーション方法で言語力を培い、基礎学力や思考力の育成をめざす。

(4) 中学部（3ヵ年）

- ① 小学部・小学校教育の基礎の上にたって、実生活に活かせる言語能力を向上させる。
- ② 将来の自立のために必要な学力の定着・向上を図るとともに、豊かな人間性を養う。

(5) 高等部本科〈普通科・コミュニケーションデザイン科〉（3ヵ年）

自ら学ぶ態度を培い、豊かな教養と専門的な技術を身につけ、卒業後を見据えながら、社会人としてあるべき資質を養う。

(6) 高等部専攻科〈コミュニケーションデザイン科〉（2ヵ年）

よりよく生きるための専門的技術の向上を図り、心豊かに社会の一員として貢献できる資質を養う。



3. 教育上の特色

(1) 領域および教科指導

- ・様々な教育活動、集団生活を通して、自立的・自主的な生活態度を養い、心豊かな社会の形成者としての資質を育成する。
- ・幼児・児童・生徒一人ひとりの障害の程度、特性、学習状況等を的確に把握し、基礎的・基本的な理解の徹底を図り、学力の定着を図る。
- ・幼児・児童・生徒一人ひとりの実態把握に努め、教材、教具等の精選と活用により、学習への興味関心を高め、理解する喜びを味わい、考える力を育てる。
- ・学習の場面によっては集団指導や個別指導をおりまぜながら、言語力を培い、望ましい学習態度の育成を図る。
- ・幼児・児童・生徒一人ひとりの学習効果をあげるため、各領域および教科における指導内容の系統化や総合的な学習・探究の時間の効果的活用などで学習活動の充実を図る。
- ・豊かな情操を身につけた人格の形成をめざし、自己の障害を理解して社会の変化に柔軟に対応する能力、態度の育成を図る。
- ・習熟度別クラス編成や選択授業を取り入れ、多様な進路希望に対応できるカリキュラムで、個人の理解や進度に応じた学習を進める。
- ・タブレット端末や電子黒板等の ICT の効果的・効率的な活用により、個別最適化学習や主体的・対話的で深い学びの実現にむけた授業改善を推進する。

(2) 道徳教育

- ・将来、社会の一員としてよりよく生きるため、体験活動等様々な活動を通して自尊感情を育み、自他の生命の尊重や他者への思いやり等の道徳性を養うとともに、ルールやマナーを主体的に守る心や態度を育成する。
- ・各教科をはじめあらゆる教育活動の特質に応じて全教職員で道徳教育を推進する。

(3) 特別活動

(学級会・ホームルーム)

- ・望ましい集団活動を通して、心身の調和的発達と個性の伸長を図り、集団の一員としての生活態度を育てる。また、さまざまな場面をとらえ、個人としての在り方、生き方について自覚を深める。

(児童会・生徒会活動)

- ・活動を通して、個々の児童生徒が自己の役割を自覚し、進んで学校生活の向上に努めるなどの自主的態度を身につけ、学校生活における規律とよりよい校風の樹立に努める。

(学校行事)

- ・大きな集団で実施する多彩な内容の総合的な体験活動を通して、幼児・児童・生徒が喜びや苦勞を分かち合いながら、規律・共同・責任などの集団活動における望ましい態度を養う。

(4) 自立活動

- ・「聴覚活用」「発音・発語指導」「コミュニケーション」「障害認識」に関する内容を基盤とし、さらに個々の幼児・児童・生徒の実態やニーズに応じて、自立活動の6つの区分である「健康の保持」「心理的な安定」「人間関係の形成」「環境の把握」「身体の動き」「コミュニケーション」から必要な項目を選定し指導を行う。

(5) 交流及び共同学習の一層の充実

- ・交流及び共同学習の充実から「心のバリアフリー」を推進する。双方の生徒が自己有用感や自己肯定感を体得できるよう、交流の内容や方法等を工夫する。主体的・対話的に取り組める内容を設定する。
- ・特別支援学校の幼児・児童・生徒が、同世代の地域の仲間とともに学び、居住地との結びつきを強め、地域での生活基盤を形成していくために、居住地校（副籍）との交流を進める。

(6) 自立と社会参加の実現に向けたキャリア教育の充実

- ・将来への夢や志を有し、その実現に向けて自発的・主体的に学ぶ幼児・児童・生徒の育成に励む。
- ・キャリア発達段階表等により、保・幼・小・中・高と一貫したキャリア教育を展開し、将来自立し社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育む。
- ・高等部においては、技能検定を活用した実践的段階的な指導を進める。

(7) 地域における特別支援教育のセンター的機能

- ・施設・設備や教員の専門性を活かし、早期からの教育相談や聴覚障害に関する情報提供を行う。
- ・医療・福祉・教育等の諸機関と連携を図りながら、聴覚障害教育における多様なニーズに応える。
- ・地域の小・中学校の通常学級に在籍する聴覚障害児童生徒に対して、通級指導を行う。
- ・聴覚障害幼児児童生徒が在籍する教育機関の職員を対象に、情報提供や研修を行う。
- ・聴覚障害の理解を深めるために、地域の学校を対象に理解啓発活動を行う。

部活動

- ・ 中学部・・・卓球部・陸上競技部・野球部・美術工芸部・家庭科部
- ・ 高等部・・・卓球部・陸上競技部・野球部・美術工芸部・家庭科部

4. 応募の手続き

(1) 入学相談

入学希望者には教育相談や学校説明会を行いますので、学校にお問い合わせの上、幼児児童生徒、保護者、学級担任同伴で本校までおいでください。

(2) 保育相談部・幼稚部

お問い合わせの上、幼児、保護者同伴で本校までおいでください。

(3) 小・中学部

本校は県立学校です。入学希望者はまず、居住校区の小・中学校、各市町の教育委員会、その他関係機関にご相談ください。

(4) 高等部本科<普通科・コミュニケーションデザイン科>・専攻科<コミュニケーションデザイン科>

兵庫県教育委員会の「入学者選考要綱」により入学選考を実施します。入学願書等の関係書類は、出身学校長を経て、提出してください。



小学部棟 平成 26 年 3 月完成

5. 入学決定まで

(1) 保育相談部・幼稚部入学希望者については、新入学面接相談を実施します。

(保育相談部：令和9年1月20日(水)の予定。幼稚部：令和9年1月21日(木)の予定)

(2) 高等部(本科・専攻科)入学希望者については、入学選考を実施します。詳細は後日発表。

(3) 入学決定の通知

- ・保育相談部・幼稚部・・・ 学校長より、文書を交付します。
- ・小 ・ 中 学 部・・・ 兵庫県教育委員会より、保護者宛に文書で通知されます。
- ・高 等 部・・・ 学校長より、文書を交付します。

6. 諸 費 用

(1) 幼・小・中学部

- ・入学に関する費用、授業料、教科書代は無料です。
- ・所得の状況に応じて補助(就学奨励費)が受けられます。
- ・その他の費用は、学習費、積立金等です。

(2) 高 等 部

- ・入学考査料、入学料は無料です。
- ・所得の状況に応じて補助(就学奨励費)が受けられます。
- ・その他の費用は、学習費、積立金等です。

注) 本科と専攻科では就学奨励費に違いがあります。

